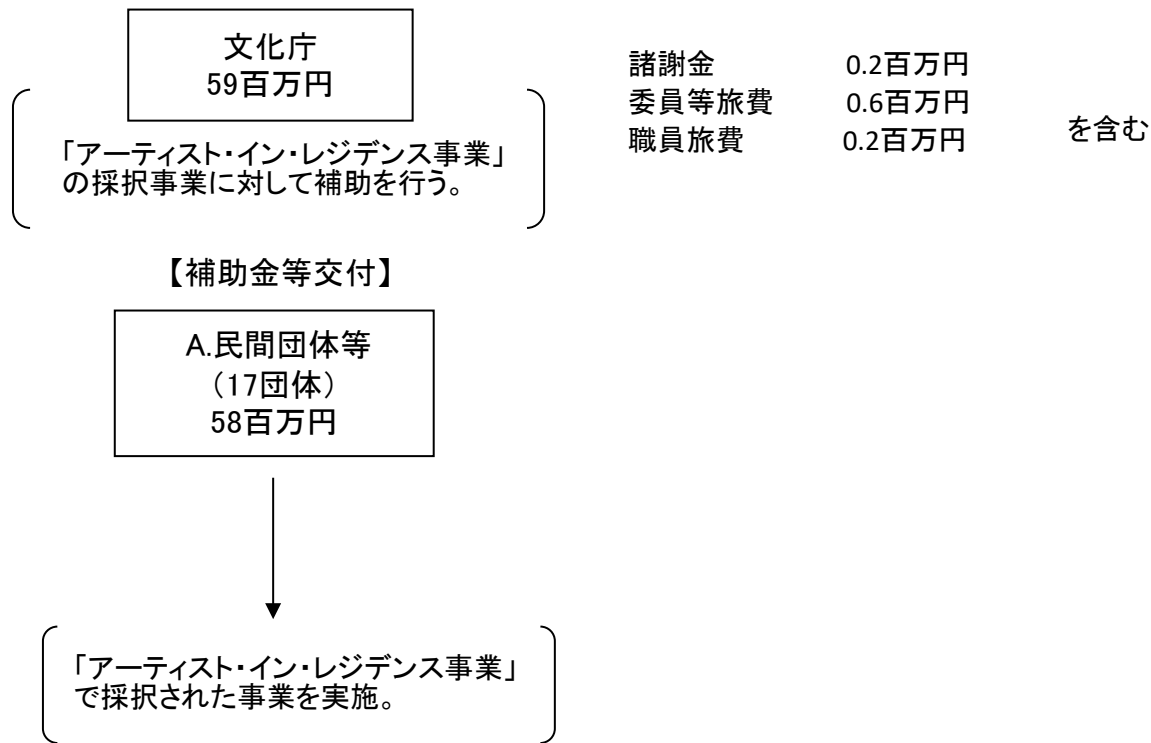


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業			担当部局庁	文化庁		作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(生活文化創造担当)		参事官(生活文化創造担当) 児玉 大輔
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第15条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(第2期) (令和5年3月24日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	異文化交流の担い手となる外国人芸術家の積極的な受け入れや、国際的な文化芸術創造といった各地域において取り組まれている特色ある国際文化交流事業(アーティスト・イン・レジデンス等)への支援を通じて、日本国内に文化芸術の創造・発信拠点を形成するとともに、国内の様々な地域における国際文化交流の推進、文化芸術を基幹とした地域活性化を図ることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	深刻な少子高齢化の進行による人口減少等により、特に地方部での文化芸術の担い手が著しく減少している。また、地域間格差にも配慮した文化芸術振興方策を進めるとともに、需要・市場を意識した活動を推進することが重要となっている。経済成長の実現や国際的な存在感の向上に寄与することが期待されている文化芸術の役割に対して、文化施設以外のレジデンス機能を持った団体への支援や若手アーティストの鋭い感性を育てるための取組は数も少ない。また、地域に文化芸術活動を根付かせること、若手アーティスト等の育成のみならず、地域文化の多様性確保、多文化共生等の意味においても、アーティスト・イン・レジデンスの手法は有効である。そのため、我が国の各地域におけるアーティスト・イン・レジデンスの拠点を継続的に支援していくことが重要である。						
事業概要 (5行程度以内)	・外国人芸術家等を招へいし、国内芸術家や地域住民等との連携や協働を行いながら実施する滞在型の芸術創造支援プログラム及び付随して実施される地域住民をはじめとした広く一般を対象にした文化芸術に触れる機会を提供するイベント等、さらに外国人芸術家等及び国内AIR実施団体が行うAIR活動の広報・発信に対して補助を行う。 ・平成26年度に事業の整理統合による補助金額のメリハリ化等の見直しを、及び平成28年度には本活動の機能を一層強化するため、海外のAIR団体との双方交流が可能な新たな支援プログラムの創設、また平成30度からはより効果的な支援のため、補助対象を「拠点的事業支援」「小規模等事業支援」の2つに区分する事業再編を行い、令和5年度は、補助対象を「拠点的事業支援」へ一本化した。						
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokusaibunka/air/index.html						
実施方法	補助						
補助率等	補助対象は募集要項に記載(https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/93827801_01.pdf)。 補助上限額700万円とし、交付要望書について有識者等で構成する協力者会議で議論の上、交付(補助)額を決定。						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	66	66	65	30	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	66	66	65	30	-	
	執行額(G)		62	59	59		
	執行率(%) =(G)/(F)		94%	89%	91%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		94%	89%	91%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	文化振興費					
	(目)	文化芸術振興費補助金	28				
	(目)	委員等旅費	0.8				
	(目)	職員旅費	0.5				
	(目)	諸謝金	0.3				
	(目)	庁費	0.2				
		その他	0	-			
	計(A)		30	-			

活動内容① (アクティビティ)		外国人芸術家等を招へいし、国内芸術家や地域住民等との連携や協働を行いながら実施する滞在型の芸術創造支援プログラム及び付随して実施される地域住民をはじめとした広く一般を対象にした文化芸術に触れる機会を提供するイベント等、さらに外国人芸術家等及び国内AIR実施団体が行うAIR活動の広報・発信に対して補助を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		AIR団体の活動の活性化	補助件数	活動実績	件	20	19	17	7	-
				当初見込み	件	17	17	18	4	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	AIR団体の活動に対して支援することによって、AIR事業というサービスが実施できることから、当該団体が提供する環境やイベント等に参加し、文化芸術に触れたことに対する肯定的な意識の変化が生じることが見込まれる。(アーティストの活動を知ることができた、地域の魅力に気づいた等)								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		外国人アーティスト等やイベント参加者の参加満足度	外国人アーティスト等やイベント参加者の参加満足度	成果実績	%	-	-	-		
				目標値	%	-	-	-	70	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		各団体から提出される実績報告								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	海外からのアーティストの受入や、国内アーティストや地域住民のイベント参加者の増加によって、AIRの活動が充実すれば、受入希望者が増えることが見込まれるため。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 8 年度	
		AIR受入希望者の増	AIR受入希望者(問い合わせしてきた国内外アーティストの数)の対前年度比	成果実績	%	-	-	-		
				目標値	%	-	-	-	120	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		各団体から提出される実績報告								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	受入希望者が増えれば、当該団体の活動に対して興味を持つ者が増えるので、自己負担のあるAIR事業になっても参加希望者が増えることが見込まれるため。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 13 年度	
		自己収入率の増	自己収入率(審査フィー、受入フィー等／総事業費)が前回より増加した事業の割合	成果実績	%	-	-	-		
				目標値	%	-	-	-	70	
				達成度	%	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		各団体から提出される実績報告								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業については、現時点での予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝金・宣伝費・印刷費等	謝金、宣伝費、運搬費	2			
	会場費・創作活動費・文芸費	会場費、創作活動費、文芸費	2			
	旅費	国際航空費、国内交通費、滞在費	1			
	諸経費	諸経費	1			
	計		6	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック		

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応礼・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター	7020005006934	黄金町2022国際アーティスト・イン・レジデンスプログラム	6	補助金等交付			
2	一般社団法人AISプランニング	1430005010917	雪の上へのびる道	6	補助金等交付			
3	公益財団法人京都市芸術文化協会	4130005012379	京都芸術センターアーティスト・イン・レジデンスプログラム2022/2023	6	補助金等交付			
4	特定非営利活動法人BEPPU PROJECT	7320005003109	KASHIMA 2022 - BEPPU ARTIST IN RESIDENCE	5	補助金等交付			
5	公益財団法人セゾン文化財団	7010005015597	セゾン・アーティスト・イン・レジデンス	4	補助金等交付			
6	一般社団法人PAIR	1040005019080	PARADISE AIR「PARADISE Knot(パラダイス・ノット)」	4	補助金等交付			
7	アーカスプロジェクト実行委員会	-	ARCUS Project 2022 IBARAKI(アーカスプロジェクト2022いばらき)	3	補助金等交付			
8	特定非営利活動法人S-AIR	6430005004286	なえぼアートプロジェクト naebonart 2022	3	補助金等交付			
9	公立大学法人青森公立大学	3420005002401	国際芸術センター青森 公募型・企画型交換AIR 2022	3	補助金等交付			
10	福岡市(福岡アジア美術館)	3000020401307	福岡アジア美術館 美術作家招聘事業	3	補助金等交付			
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	